

長野市民病院へ心不全と診断され入院加療された患者さんへ  
当院における臨床研究にご協力をお願ひいたします

「心不全で入院歴があり当院内科外来へ通院している心不全患者さんに、外来看護師が継続的に療養支援を行った効果の検証」について実施しています。

長野市民病院倫理委員会の承認を受け、病院長の許可を得て実施しています。この調査は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、調査内容の情報を開示することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2024 市病倫第 0088 号
研究課題名	心不全で入院歴があり当院内科外来へ通院している心不全患者さんに、外来看護師が継続的に療養支援を行った効果の検証
所属	長野市民病院 看護部
研究責任者	第 1 外来（内科外来所属）看護師 宮寄 恵
調査実施期間	医倫理承認後～2028 年 3 月
調査の意義、目的	現在世界中で心不全患者の増加が報告されており、日本でも 2030 年には心不全患者が 130 万人に達すると予測されています。心不全の特徴として、加齢を起因とする心不全患者の増加により、死亡率が高く（5 年生存率 50%）治療の進歩にも関わらず死亡率は高値で推移しています。1 年以内に 25% が再入院するとされており、心不全患者の再入院予防は重要な課題です。再入院予防のためには自己管理が重要ですが服薬、運動、減塩、血圧・体重測定などの行動を新たに日常生活に取り入れることは難しいと言われています。さらに高齢になると記憶力や体力の低下などによりさらに困難になります。 心不全患者を、病期の経過に沿って安定期の維持と再入院の回避、重症化予防、QOL の改善などを目標に、病院内外の医療・介護・福祉の職種で協力し継続的に支援していくことが求められています。 当院の内科外来へ通院している心不全患者に、外来看護師が継続的に療養支援を行った効果について検証したいと考えています。高齢心不全患者に対する有効な再入院予防の支援について明らかにし、より良い支援に繋げていくことが目的です。

対象となる方	2023年4月1日～2028年3月31日に当院に心不全治療で入院した患者
利用する診療記録	電子カルテから医師記録、看護記録、入退院支援情報、多職種カンファレンス記録、検査データ等より年齢、性別、既往歴、家族構成、内服情報、住環境（自宅または施設）、介護保険の利用の有無、在宅日数、HCU滞在日数、居宅復帰率、退院後のフォロー先、1年以内の再入院の有無、緩和ケアの介入の有無、1年後の死亡率、入院経路（外来または救急センター）、受診間隔、キーパーソン、療養支援記録の情報など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、心不全患者に外来看護師が療養支援を行った効果について検討します
調査代表者	長野市民病院 宮寄恵
問い合わせ先	長野市民病院 第1外来（内科外来所属） 宮寄恵 電話 026-295-1199 内科外来

既存の診療記録、検査結果を調査、集計しますので、新たな検査、検体の採取の必要はありません。当院外へ患者さんを直接特定できる個人情報がでることはありません。利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除いたします。この調査にご自分の診療記録等を利用するご了承いただけない場合、またご不明点につきましては、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。調査に不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいた時、既に結果が公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります、引き続き使用させていただくことがあります。